



# 平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイケイ

コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括

(氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	10,384	15.5	131	—	111	—	43	—
27年5月期第3四半期	8,987	0.8	△19	—	△18	—	△70	—

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 41百万円 (—%) 27年5月期第3四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	23.25	—
27年5月期第3四半期	△38.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	4,826	1,478	30.6
27年5月期	4,637	1,470	31.7

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 1,478百万円 27年5月期 1,470百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

・平成28年5月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当2円00銭

## 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	14.6	210	228.1	230	238.2	120	—	64.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期3Q	1,952,000 株	27年5月期	1,952,000 株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	88,900 株	27年5月期	88,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期3Q	1,863,100 株	27年5月期3Q	1,832,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策により、大企業を中心に企業業績の改善や雇用環境に改善が見られました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の景気減速による生産・輸出の伸びの鈍化や、株価の下落、原油価格の下落、更に外国為替市場における円相場の不安定な動きなどもあり、景気の回復は依然として不透明な状態が続きました。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

メーカーベンダー事業では、雑貨商品、食品商品問わず「美容・健康」ジャンルの商材開発に注力してまいりました。雑貨商品ではロコモティブシンドロームを予防するために立ち上げた自社ブランド「Locox」商品の「はくだけエクスパッツ」等の販売を強化いたしました。食品商品では「食べるものにこだわる生き方が楽しい」を応援する自社ブランド「マザーズマーケット」商品の「ノンオイルカレー」等の商品開発と販売に注力してまいりました。

SKINFOOD事業では、新商品としてブラックシュガーパーフェクトシリーズの販売を開始いたしました。また、店舗の出退店につきましては「ルミネ横浜店」をオープンいたしました一方、「イオンモール茶屋店」及び「東京ドームシティラクア店」を閉鎖いたしましたことから当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店18店舗（前年同期末20店舗）、FC店1店舗（前年同期末1店舗）の19店舗（前年同期末21店舗）となりました。

ITソリューション事業では、引き続き新商品のチャットシステム「Smart M Talk」（スマート エム トーク）の販売に注力いたしましたほか、既存の主力商品であります通話録音システム「VOI STORE」の販売にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,384百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益131百万円（前年同四半期は19百万円の営業損失）、経常利益111百万円（前年同四半期は18百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円（前年同四半期は70百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### <メーカーベンダー事業>

売上高は9,498百万円（前年同四半期比17.3%増）となり、営業利益は140百万円（前年同四半期比41.2%増）となりました。

#### <SKINFOOD事業>

売上高は717百万円（前年同四半期比3.3%減）となり、営業利益は24百万円（前年同四半期は45百万円の営業損失）となりました。

#### <ITソリューション事業>

売上高は169百万円（前年同四半期比13.6%増）となり、営業損失は37百万円（前年同四半期は75百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ218百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が102百万円、「商品及び製品」が170百万円、それぞれ増加したことと、「受取手形及び売掛金」が78百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ28百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「投資その他の資産」が31百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,826百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加しました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ115百万円増加しました。

主な流動負債の変動は、「買掛金」が118百万円増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ66百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が54百万円増加したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は3,348百万円となり、前連結会計年度末に比べ181百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が9百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,574	215,774
受取手形及び売掛金	2,500,967	2,422,724
商品及び製品	1,157,940	1,328,262
原材料及び貯蔵品	9,980	13,450
その他	158,044	178,312
貸倒引当金	△2,409	△2,257
流動資産合計	3,938,097	4,156,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	157,830	149,445
土地	80,216	80,216
その他(純額)	29,043	31,684
有形固定資産合計	267,090	261,346
無形固定資産		
のれん	56,200	46,283
その他	55,396	73,973
無形固定資産合計	111,597	120,256
投資その他の資産		
その他	331,331	299,651
貸倒引当金	△10,874	△10,594
投資その他の資産合計	320,457	289,056
固定資産合計	699,145	670,659
資産合計	4,637,242	4,826,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,089,386	1,208,051
短期借入金	500,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	347,358	383,629
役員賞与引当金	—	12,968
返品調整引当金	10,750	11,429
その他	551,524	597,970
流動負債合計	2,499,019	2,614,048
固定負債		
長期借入金	464,605	519,311
退職給付に係る負債	74,618	75,882
役員退職慰労引当金	121,330	127,469
その他	7,314	11,935
固定負債合計	667,868	734,598
負債合計	3,166,887	3,348,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	365,001	365,001
利益剰余金	739,884	749,668
自己株式	△38,938	△38,938
株主資本合計	1,467,697	1,477,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,657	798
その他の包括利益累計額合計	2,657	798
純資産合計	1,470,354	1,478,280
負債純資産合計	4,637,242	4,826,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	8,987,383	10,384,431
売上原価	5,454,582	6,225,160
売上総利益	3,532,801	4,159,271
販売費及び一般管理費	3,551,963	4,027,489
営業利益又は営業損失(△)	△19,162	131,781
営業外収益		
受取利息	226	177
受取手数料	3,014	3,095
為替差益	3,885	—
その他	1,200	1,485
営業外収益合計	8,327	4,757
営業外費用		
支払利息	7,388	6,266
為替差損	—	5,186
デリバティブ評価損	—	11,500
退店違約金	—	2,493
営業外費用合計	7,388	25,447
経常利益又は経常損失(△)	△18,223	111,092
特別損失		
固定資産除却損	6,325	—
減損損失	4,751	7,681
関係会社株式評価損	—	8,700
特別損失合計	11,077	16,382
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,300	94,709
法人税等	40,924	51,389
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,225	43,320
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,225	43,320



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,225	43,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,179	△1,858
その他の包括利益合計	1,179	△1,858
四半期包括利益	△69,045	41,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,045	41,461

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。